## 一般質問通告書

通告順番 12 番

通告者 山本 富二夫 議員

<b>进</b> 古有 以本 苗一大 議員				
	質問事項	質問の要旨	質問の	)相手
1	子育て世代や若年層が安 心して住める町づくりに ついて		町	長
2	人生 100 年時代の健康づく りと高齢者が支える側に 回る社会づくりを取り入 れて行くべきだ	高齢化が進む中で、支える側と支えられる側に分けるのではなく高齢者自身が社会を支える担い手として活躍できる仕組みが必要ではないかと考えるがこのことについて町長に問う。 (1)町として健康寿命の延伸に向けた具体的な数値目標や重点施策(運動・食・社会参加など)設定しているか (2)公民館や学校施設を活用した健康・生涯学習・スポーツ講座の整備をどう進めるか (3)高齢者が支えられる側から、支える側へという意識改革を広めるための広報・教育的取り組みをどう進めていくのか	町	長
3	狩猟免許取得等にかかる、 毎年の必要経費を町負担 ですべきだ	近年、熊の被害が九州・四国を除いて出ている。その中の要因に猟師の高齢化となり手不足による従事者の少なさがある。新潟県は自衛隊に依頼し、北海道では猟師に対しての尊厳を傷つける言動で出動要請を猟友会が拒否する事態も起きている。 狩猟免許を取り、毎年更新するためには、多額の継続経費が必要であるため、町は猟師の人数確保を目指すために、登録の継続経費の負担をすべきであると考えるが町長の考えを問う。 (1)猟銃免許保有者の継続経費負担の補助金等をすべきと思うがどう考えるか(2)ガバメントハンターの確保を(10名)目指すべきだ	町	長